

52円
切手

〒144-0035
大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ2階

一般社団法人大田観光協会

「おおたの桜スタンプラリー」係

住所

氏名

年齢

性別

場所

理由

感想

キリトリ線

イベント スケジュール③④⑤月

3月 14(土)

シーカヤックスクール*〈大森ふるさとの浜辺公園〉

4月、5月も実施

15(日)

シーカヤックツーリング*〈東京湾・京浜運河〉

15(日)

池上本門寺都市(池上本門寺総門内)4月19日、5月17日も実施

28(土)

大森海苔ウォーク〈美原通り商店街他〉※予定

28(土)・29(日)

お花見シーカヤックツーリング*〈多摩川〉

29(日)

二十一世紀桜まつり〈ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木〉

4月 4(土)・5(日)

春まつり&花まつり〈池上本門寺〉

5(日)

馬込文士村大桜まつり〈馬込桜並木〉

21(火)

禰宜の舞〈天祖神社〉

5月 11(月)

水神祭(羽田沖)

23(土)・24(日)

TOKYO CANOE FESTIVAL in OTA*〈大森ふるさとの浜辺公園〉

春&初夏のまち歩き情報はこちらから

大田区まち歩きNews第13号

春&初夏のまち歩き情報は、大田区まち歩きNews13号をご覧ください。
3、4、5月に開催する区内のまち歩きイベントをご案内！
※区施設等で配布している紙媒体の他、大田観光協会ホームページよりダウンロードいただくか、「大田区まち歩きイベント・ガイドツアー」ページでもご紹介しています

大田観光協会は会員の皆さま、地域の皆さまと大田の魅力をPRする活動をしています。

大田観光協会
(大田区産業プラザ2階)

大田区の「観光」についてのガイドや資料がご覧いただけるほか、見どころなどについて窓口で直接聞くこともできる「大田の観光」の情報発信基地！
(月)～(金)9～17時 (土)10～17時(休館日あり)

大田の観光春

発行／一般社団法人大田観光協会

〒144-0035
東京都大田区南蒲田1-20-20
大田区産業プラザ2階
TEL.03(3734)0202
FAX.03(3734)0203
Facebookやってます



桜の季節、池上会館屋上から眺める五重塔の風景。

本門寺に眠る二人の才女
文(あや)とすみ子

池上本門寺に眠る多くの有名な、五重塔のほど近くに同時代を力強く生き抜いた二人の女性の墓がひっそりと佇んでいる。二人は文筆と映画、住んだ世界は違うが時代を代表した才女だった。幸田文(1904～1990)は、日本で最初に文化勲章を受章した幸田露伴の次女として生まれた。彼女は自分の作品のタイトル『みそっかす』『同様の不運な人生を歩まねばならなかった。文は5歳の時に母、8歳の時に姉を失ったばかりか、22歳の時に3歳年下の弟までも亡くしてしまふ。また自分の結婚生活にも破れひとり娘を抱えたまま年老いた父の看病に努めた。父の死後、文は回想記を出版し小説家として一歩踏み出すが、1950年突然、筆を置いてしまった。彼女は断筆の理由として「私が文章を書く努力は私として最高のものではなかったと語った。文筆家として更なる人生経験の必要性を感じた彼女が向かった先が、柳橋の芸者置屋だった。名前を伏せて住み込みとして働いた体験を描いた最初の長編小説『流れる』(1955年)で「新潮社文学賞」「日本芸術院賞」を受賞し、文の作家としての名声が確立した。

『流れる』は、1956年に松竹蒲田出身の巨匠・成瀬巳喜男の手によって映画化された。本作品で21年振りにスクリーンに復帰した大女優の墓は『流れる』の繋がりを示すかのように、幸田文(1902～1987)、「松竹キネマ蒲田撮影所」が生んだ最初の大女優である。弱冠19歳の

歩踏み出すが、1950年突然、筆を置いてしまった。彼女は断筆の理由として「私が文章を書く努力は私として最高のものではなかったと語った。文筆家として更なる人生経験の必要性を感じた彼女が向かった先が、柳橋の芸者置屋だった。名前を伏せて住み込みとして働いた体験を描いた最初の長編小説『流れる』(1955年)で「新潮社文学賞」「日本芸術院賞」を受賞し、文の作家としての名声が確立した。

『流れる』は、1956年に松竹蒲田出身の巨匠・成瀬巳喜男の手によって映画化された。本作品で21年振りにスクリーンに復帰した大女優の墓は『流れる』の繋がりを示すかのように、幸田文(1902～1987)、「松竹キネマ蒲田撮影所」が生んだ最初の大女優である。弱冠19歳の

時、日本初のスペクタクル映画『虞美人草』の主演に抜擢されたすみ子は、持つて生まれた美貌で一躍「日本の恋人」と呼ばれる国民的スターとなった。日本映画を代表する女優として活躍したすみ子だが、撮影所が蒲田から大船に移転する時に合わせたかのように映画界から身を引いてしまった。

その後、日本舞踊の名取りをはじめ自分の事業に専念したすみ子だが、唯一映画に復帰した作品が『流れる』だった。本作品で置屋の女将に扮したすみ子は、田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子等を圧倒する貫録を示し、かつての大女優の威光を天下に知らしめた。

明治、大正、昭和、激動の時代、それぞれの道を切り開き才能を開花させた二人は五重塔に守られるかのように静かに眠っている。

岡茂光

大田の観光春

一般社団法人 大田観光協会

2015.3 No.16

おおたの桜ういーく

3月21日～4月12日
詳しくは3面で



洗足池の岸辺は、春ともなればボートから眺められる桜の名所に。スワンボート(30分800円～)やローボート(30分400円～)を楽しめる。



勝海舟夫妻の墓所。海舟は1899年、77歳で亡くなるが、生前より墓所を造っていた。



西郷の死をいたんだ海舟が、私費で建立した石碑。



洗足軒の移転地に、海舟の書籍を中心に文庫・講堂として建てられた昭和初期の貴重な歴史的建造物。



洗足池の風景を気に入った海舟が、1981年に自ら名付け建設し暮らした洗足軒。

そして海舟は池の畔に暮らした

1868年明治政府が成立、260年余り続いた江戸時代の幕が閉じる。世界に類を見ない平和的革命といわれる「江戸無血開城」が成し遂げられたことにより、間一髪で江戸の町は救われた。幕臣ではあるが広く日本の未来を考えていた勝海舟は、諸外国に支配されないためには日本人同士が争っている場合ではないと、官軍を率いる西郷隆盛との会見にこぎつけた。大田区の洗足池の畔にこの両雄の足跡を見ることが出来る。一つは勝海舟夫妻の墓、一つは西郷隆盛の留魂詩碑。海舟は西郷と会った本門寺に向かう途中見た洗足池の風光を愛し別邸「洗足軒」を構え、遺言により池の畔に眠っている。その墓域にある留魂詩碑は海舟が西郷の死を大いにいたみ、独力で建てた石碑であり、もとは別の寺院にあったが、後には海舟の墓の傍に移され、今も両雄の交友を物語っている。



「洗足軒」(洗足風致協会創立六十周年記念誌「洗足池」より)

松濤園

池上本門寺奥庭

池上本門寺の奥庭。水を湛える池と、溪谷、船着き場、太鼓橋といった風情ある景観が楽しめる庭園は、小堀遠州作と伝わる。園内には西郷隆盛と勝海舟の高雄会見の碑がある。(現在非公開)



池上本門寺をはじめ周囲の各寺院、呑川沿いと、春には一帯が桜の名所になる。

寺院を彩る桜

池上本門寺の総門脇に朱塗りの門を構える理境院は、西郷隆盛が宿泊したことも知られている。



理境院



参考文献:「大田区史」,
「大田の史話」

西郷隆盛と

池上本門寺



池上本門寺
最寄り駅:東急池上線
「池上」駅下車

江戸を救った 両雄の会見

勝海舟と西郷隆盛の存在無くしては無血で江戸城を明け渡し、江戸の町や人々を戦火から守ることはできなかっただろう。旧幕府軍が鳥羽・伏見の戦いに敗れ、討伐のため西郷を参謀とする明治新政府による東征軍が江戸に向かい、池上本門寺に本陣が置かれた(西郷は理境院を宿舎にしたと伝わる)。江戸城総攻撃の日はずでに3月15日と決定。徳川家に交渉を任された海舟は、攻撃を止めるため西郷と会談し、徳川慶喜の助命や江戸開城の条件についての合意を取ることに成功した。

互いに尊敬しあう二人のこの歴史的会見が池上本門寺奥庭・松濤園にて行われたということを書き記す碑がある。「西郷勝両雄会見之處」と刻まれており、『大田の史話』によると、隆盛の弟・従道の子・従徳の筆であり、昭和11年の建碑式には西郷・勝両家の当主も出席したとのことである。西郷はやがて西南戦争に突入し遂に自決することになるが、その死後、江戸無血開城を共に実行した盟友・勝海舟は西郷の名誉回復に手を尽くしたという。

おおたの桜 ういーく

2015年3月21日(土祝)~4月12日(日)

おおたの桜スタンプラリー

桜スポットをめぐって記念品をもらおう! 詳しくは

みんなでつくる

おおたの桜フォトギャラリー

皆さんが撮影した今春の大田区内の桜の写真で、大田観光協会のホームページに桜写真アルバムを作ります!

〈応募方法〉大田観光協会HPトップページ

- 「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー」ボタンより
■STEP 1 登録➡①メールアドレス ②ニックネーム ③お名前
④ご住所 ⑤電話番号 ⑥年齢・性別を記入
■STEP 2 投稿➡①作品データ ②作品タイトル
③撮影日・撮影場所 ④コメントを記入

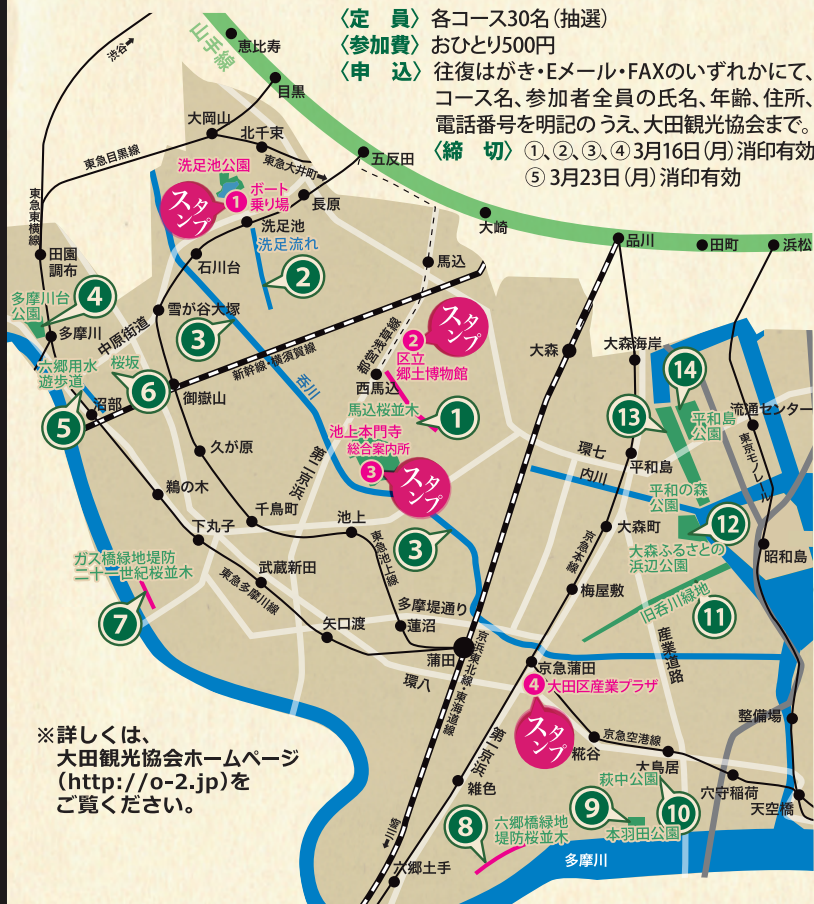
〈応募資格〉どなたでもご応募いただけます。(お一人10点まで)
ただし2015年に大田区内で撮影したものに限りです。

〈作品規格〉JPEG形式で10MB以内(推奨:2400×3000ピクセル以上、700万画素相当)
※応募作品の使用権は大田観光協会に帰属し、発行物などに使用させていただく場合があります。

おおたの桜めぐりウォーク

ガイドの解説付きで、桜咲く街をめぐります。

- ①馬込文士村&Museumコース 3月28日(土) 12:45~16:00
②呑川コース 3月29日(日) 13:30~16:00
③多摩川&六郷用水コース 3月29日(日) 9:45~13:00
④洗足池コース 3月29日(日) 9:30~12:30
⑤池上本門寺と春まつりコース 4月4日(土) 12:30~15:00



〈定員〉各コース30名(抽選)
〈参加費〉おひとり500円
〈申込〉往復はがき・Eメール・FAXのいずれかにて、コース名、参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を明記のうえ、大田観光協会まで。
〈締切〉①、②、③、④ 3月16日(月)消印有効
⑤ 3月23日(月)消印有効

※詳しくは、
大田観光協会ホームページ
(<http://o-2.jp>)を
ご覧ください。

おおたの桜スタンプラリー

期間:3月21日(土祝)~4月12日(日)

スタンプを集めれば、ステキなプレゼントがお手元に届きます!!

期間中、4か所すべてのスタンプを集め、裏面の必要事項を明記してご応募下さい(4月20日消印)。ご応募の方全員に、プレゼントをお届けします。

スタンプ
設置場所は
左下MAPを
ご参照下さい。

スタンプを押し、裏面必要事項ご記入の上、52円切手を貼って投函いただくか、FAX(03-3734-0203)で両面送信または④の捺印所でご提出下さい。

①洗足池公園

ボート乗り場
9:30~17:00

洗足池

※東急池上線「洗足池」駅徒歩1分

②区立郷土博物館

9:00~17:00(月休)

馬込

※都営浅草線「西馬込」駅徒歩7分

③池上本門寺

総合案内所
9:30~16:00

※4月12日はイベント実施につき、境内通行時ご注意ください。

池上

※東急池上線「池上」駅徒歩10分
都営浅草線「西馬込」駅徒歩12分

④大田区産業プラザ

2階/観光・産業情報コーナー
月~金9:00~17:00
土10:00~17:00(日祝休)

蒲田

※「京急蒲田」駅徒歩3分

キリトリ線
こちらの申込ハガキにスタンプを押印、裏面をご記入の上、ご応募下さい。

まだまだある!

おおたの桜スポット

- 馬込桜並木
- 洗足流れ
- 呑川
- 多摩川台公園
- 六郷用水遊歩道
- 桜坂
- ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木
- 六郷橋緑地堤防桜並木
- 本羽田公園
- 萩中公園
- 旧呑川緑地
- 大森ふるさとの浜辺公園
- 平和の森公園
- 平和島公園



呑川



旧呑川緑地



馬込桜並木



平和の森公園



六郷土手

これらの写真は、昨年の「おおたの桜フォトギャラリー」に寄せられた作品です。



蒲田梅屋敷 明治時代絵葉書(大田区立郷土博物館所蔵)

名だたる幕末志士たちが会合した 聖蹟蒲田梅屋敷公園

蒲田3-25-6 京急本線「梅屋敷」駅徒歩5分

第一京浜沿いにある梅の名所「梅屋敷公園」は、そもそも江戸時代にあった和中断(道中常備薬)売薬所の広大な梅林と、その傍らで商う東海道の休み茶屋に始まる。幕末には攘夷派の志士たちが米通訳のヒュースケンを斬るなど外国人殺傷計画を企てる集会に、この梅屋敷がよく利用されたという。また、長州の高杉晋作らもイギリス公使一行の襲撃計画をここで相談したとか。



東征軍本陣に忍び込んだ男は流行仏に

馬頭観音堂の「不徹子之墓」

池上3-20-4(馬頭観音堂)
東急池上線「池上」駅徒歩15分

渡辺健造という幕臣が、本門寺に置かれた東征軍本陣に忍び込み発見され処刑された。その胴体を祀った墓を(胴殻様)としてここに、首を祀った墓を(お首様)として大経寺(鈴ヶ森)に別々に供養され、後に流行仏として信仰された。

大森海岸で黒船を警戒した

おもりちょううちば 大森町打場

大森東3-28付近

欧米の船が次々とやって来ると、幕府は江戸湾の海岸防備のため大筒の町打場(大筒や小銃の稽古所)を設置。大森町打場は長州藩が警備を命じられ、桂小五郎ら藩士子弟も動員された。後にこの辺りは、東京ガス大森工場となり、現在その隣りには大森ふるさとの浜辺公園がある。

日本開国に尽力した老中 阿部正弘別邸

南馬込3丁目(白田坂近く)
日米和親条約の締結を実現し、開国~富国強兵を唱え、身分を問わず優秀な人材を登用、育成した老中・阿部正弘。白田坂を登って、都営馬込アパートの辺りに、かつて阿部別邸があったという。